



テーマ
2

まちと産業に 活力を(まち・しごと)

安全で利便性の高い都市基盤の整備や地域産業の支援など、活気のあるまちづくりに取り組みました。

モノづくり企業フェア



テーマ
1

若い世代を増やす(ひと)

少子化と人口の減少が進む中、若い世代や子育て世代が住んでみたい、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりに取り組みました。

さやま子どもフェスタ

主な成果

入曽駅周辺整備事業基本計画を策定しました



「モノづくり企業フェス in 狭山経済高校」には40社が参加、約1,000人が来場しました



優先整備路線のうち、狭山市駅上諏訪線が開通し、都市計画道路の整備率は約70パーセントになりました



主な事業

入曽駅周辺整備事業(1,088万8千円)

入曽駅周辺の交通実態調査などを踏まえ、検討を行い、入曽駅周辺整備事業の基本計画を策定しました。

ふるさとモノづくり応援プロジェクト事業(155万9千円)

若い世代に「モノづくり」への興味や関心を喚起するとともに、地域産業の活性化を図るため、10月22日に「モノづくり企業フェア」を、10月28日に「モノづくり企業フェス in 狭山経済高校」を開催しました。

狭山市駅上諏訪線整備事業(1億7,266万7千円)

交通の利便性と安全性の向上のため、中央児童館東交差点から国道16号までの都市計画道路(580メートル)を整備し、3月26日に開通しました。

入間川とことん活用プロジェクト事業(3,334万1千円)

入間川に架かる昭代橋上流の河川敷中央公園に多目的ベンチやテーブル付きベンチを設置したほか、園路の舗装、照明灯の設置などを行いました。

主な成果

親元同居・近居支援事業で31世帯、91の方が狭山市に転入しました



学童保育室の定員を90人増員しました



今後3年間で小学校全校に洋式トイレを備えつけます



主な事業

親元同居・近居支援事業(1,350万円)

市内にお住まいの「親世帯」と同居または近居するために、市外から転入する「子世帯」に対して、住宅の新築や取得、増改築などに要する費用の一部を補助しました。

学童保育室改修整備事業(370万8千円)

児童や保護者などの利用者の利便性向上のため、富士見小学学童保育室の改修工事を実施し、保育環境の改善を図りました。

民間保育所等施設整備補助事業(1,934万2千円)

待機児童の解消を図るため、新たに小規模保育施設を整備する私立幼稚園1園に補助金を交付しました。

小学校校舎等改修事業(2,762万6千円)

快適な環境を確保するとともに、児童が使いやすいよう、小学校のトイレの一部を洋式トイレに改修しました。29年度は富士見小学校のトイレを改修するとともに、入間川東小学校ほか3校の改修の設計を行いました。